



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



静岡中央・浜松中央地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施

静岡中央地区、浜松中央地区の安全運転管理協会は、地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、管轄警察署の「死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

静岡中央地区

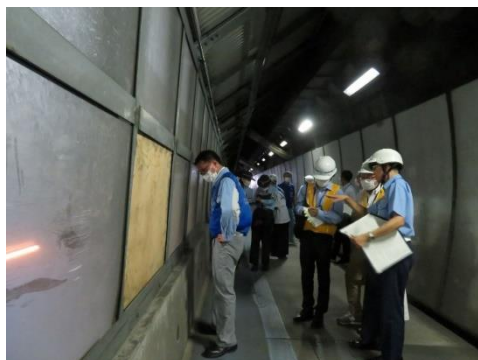
8月31日(木)に実施された交通死亡事故現場診断に、県警本部交通企画課、静岡中央警察署、静岡市、国交省静岡国道事務所、交通安全協会静岡中央地区支部とともに、**静岡中央地区安全運転管理協会（4人）**が参加（合計17人）

令和5年8月15日(火)午前6時40分頃、静岡市葵区昭府町国道1号静岡バイパス上り180.5キロポスト付近の賤機山トンネル内において準中型貨物自動車が壁面に衝突し、助手席に同乗していた10代男性が死亡する事故が発生したことを受けて、現場を点検、検証する現場診断を実施しました。

現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 道路環境では、雨天時における路面の排水機能やトンネル下りのスピード超過など改善する検討の余地がある。
- トンネル下りにおける雨天時の排水機能の低下によるスリップ危険のリスクとスピード超過による事故防止措置を講じる必要がある。

などの意見が出されました。



【トンネル内自転車道における診断の状況】



【診断結果の検討状況】

浜松中央地区

9月26日(火)に実施された交通死亡事故現場診断に警察本部交通企画課、浜松中央警察署、浜松市、地元自治会、交通安全協会浜松中央地区支部、地域交通安全推進員とともに、**浜松中央地区安全運転管理協会の役員である中村建設(株)、須山建設(株)、(株)東海電材社及び事務局が参加**（合計30人）

令和5年8月31日浜松市中区法枝町において発生した交通死亡事故【普通乗用車（女49歳）×歩行者（男74歳）】の再発防止策を検討するため、現場診断を実施しました。

現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 交差点手前がカーブのため、スピードが抑えられる看板や路面標示をお願いしたい。
- 草や街路樹の剪定をしてほしい。

等の意見が出されました。

警察本部からは、「『かもしれない運転』『車が来るかもしれない歩行』で交通事故にあわないよう呼び掛けてほしい。」との話がありました。



【現場における状況説明】



【現場診断の状況】